

プログラム

1日目 2月4日(土)

ザ・グランドホール

- 9:15～9:45 開会式
- 10:00～12:00 赤ひげフォーラム
「日本のホスピス・在宅ケアの向かうべき方向は？」
座長：二ノ坂 保喜 (にのさかクリニック 院長)
シンポジスト：西嶋 公子 (西嶋医院 院長)
鬼頭 秀樹 (上那賀病院 院長)
古川 誠二 (パナウル診療所 所長)
土川 権三郎 (丹生川診療所 所長)
- 13:15～14:15 日本医師会長講演
「地域における医師会の貢献」
演者：横倉 義武 (日本医師会 会長)
司会：二ノ坂保喜 (にのさかクリニック 院長)
- 14:30～16:00 特別講演①
「老いることはいやですか？…自分を生ききる思想と姿勢」
演者：落合 恵子 (作家)
司会：野尻あかね (元NHK福岡放送局キャスター)
- 16:15～17:00 大会長講演
「いのちを受けとめる町づくり」
演者：二ノ坂 保喜 (にのさかクリニック 院長)
- 17:00～18:30 特別講演②
「地域をつくるホスピス運動」 ～世界に学ぶ～
司会：二ノ坂 保喜
講師：Dr.Suresh Kumar (ケララ緩和ケア研究所 代表)
「Community Participation in Palliative Care (地域をつくるホスピス運動)」
堀田 聡子 (国際医療福祉大学大学院 教授)
「『Compassionate Communities (思いやりに満ちたコミュニティ)ムーブメント』に学ぶ」

久留米座

- 10:00～12:00 講演・対談シンポジウム
日本の貧困とホスピス
「下流老人と貧困世代」
演者：藤田 孝典 (NPO法人ほっとプラス 代表理事)
司会・対談：内田 浩稔 (今立内科クリニック ソーシャルワーカー)

- 13：15～15：15 シンポジウム
「穏やかに逝く」
～在宅ホスピスに寄り添う宗教者の力～
座 長：谷山 洋三（東北大学大学院文学研究科 准教授）
シンポジスト：原口 勝（みどりの杜病院 院長）
国友 朋子（円行寺 僧侶、介護士）
吉田 敬一（西栄寺 副住職、介護士）
和田 節子（遺族）
- 15：30～17：00 シンポジウム
「介護施設での看取り」
座 長：矢津 剛（矢津内科消化器科クリニック 院長）
コメンテータ：市原 美穂（ホームホスピス宮崎 代表）
シンポジスト：佐藤 弘樹（総合福祉施設はーとプラザとはや 副施設長）
梁 勝則（林山朝日診療所 院長）
余村 徹（複合型サービス ひと息の村 介護福祉士）
樋口 千恵子（NPO 法人たんがく 理事長）

C ボックス

- 12：15～13：00 ポットラックセミナー
「その人らしい旅立ちを支える臨床倫理サポート」
講 師：板井 孝老朗（宮崎大学医学部 教授）
- 13：30～14：45 Shana コンサート
朗 読「～ぼくが生きるということ～」（絵本：末永 和之監修）
朗読者：齋藤 優佳
- 15：00～16：30 在宅ホスピスを語る会 in 久留米
司 会：齋藤 如由（齋藤醫院 院長）
西岡 進（ファミリークリニック陽なた 院長）
コメンテーター：内藤 美智子（久留米市保健所 所長）
：田村 良彦（読売新聞西部本社 編集委員）
遺 族：平田 尚子（福岡県）、大坪 洋子（大分県）
- 16：45～18：15 講 演
「紛争地、被災地、看取りの現場から」
～命のバトンを受け継ぐために～
演 者：國森 康弘（写真家・ジャーナリスト）
司 会：平野 頼子（緩和ケア支援センターコミュニティ 代表）

大会議室 1

- 12：15～13：00 ポットラックセミナー
「患者意思決定支援に必要な基礎知識」
講 師：伊藤 大樹（あおばクリニック 院長）

プログラム：1日目 2月4日（土）

大会議室 1

13：15～14：45 一般口演「市民活動」O1-01～O1-02

座長 田實 武弥（小笠原内科医院）

副座長 井上 有子（訪問看護認定看護師 看護小規模多機能七星）

O1-01 広げよう、地域の輪 こころの輪 ～認知症サポーター養成講座がもたらすこと～

田中 順子（グループホーム さわやかテラス二日市）

O1-02 「もんで・さすって・歩かせて」からの脱却!? ー訪問看護ステーションからの卒業ー

大石 和也（ひらかた聖徳園 訪問看護）

O1-03 「家に帰ろう」～寸劇を通じた在宅医療推進市民啓発の取り組み～

伊藤 智美（久留米市 健康福祉部 保健所健康推進課）

O1-04 認知症の方への望ましい対応について

中村 和代（聖マリア学院大学 看護学部）

O1-05 小規模多機能型居宅介護における看取り介護の実施状況とその役割

和田 快（小規模多機能サービス山科小山、介護事業部）

15：00～16：30 一般口演「多職種連携」O2-01～O2-06

座長 阿部 智介（七山診療所）

副座長 大石 知恵子（緩和ケア認定看護師 聖マリア病院）

O2-01 事務職の同行による複数名訪問看護

～住み慣れた我が家で最期まで 生き続けるための支援の強化～

笹元 慶仁（医療法人ネリヤ ファミリークリニックネリヤ、医療法人ネリヤ ネリヤ訪問ステーション）

O2-02 地域包括ケア時代の在宅緩和ケア、さらなる地域連携強化を目指しての当院での試み

荘司 輝昭（立川在宅ケアクリニック）

O2-03 在宅歯科診療所における食支援を目的とした地域連携室設立の為の取り組み

代田 健一（アンブル歯科）

O2-04 当院における地域連携カンファレンス「切れ目のない緩和ケアを旨として」の取り組み

佐々原 友子（市立豊中病院 緩和ケアセンター）

O2-05 地方の在宅看取りにおける訪問看護の役割と地域コミュニティの可能性について

赤江 穰（日本財団在宅看護センター豊岡）

O2-06 「埼玉県在宅を支える認定看護師会」の活動報告

大沢 岸子（さいたま北部医療センター附属訪問看護ステーション）

16：45～18：15 一般口演「在宅ホスピス・緩和ケア」O3-01～O3-06

座長 山岡 憲夫（やまおか在宅クリニック）

副座長 池田 真介（在宅医療専門クリニック）

O3-01 ケタミン・モルヒネ（カクテル）持続皮下注併用により管理し得た肛門管癌の一例

趙 達来（医療法人創生会 真岡西部クリニック）

O3-02 公立の独立型ホスピス緩和ケア病院に設置した在宅医療推進室の果たす役割

原口 勝（みどりの杜病院）

O3-03 家で看取ることの意味 ～親子二世帯・夫婦事例を通じて～

野村 良彦（野村内科クリニック）

O3-04 神経難病進行中に発症した皮膚がん闘いながら、最期まで精神疾患の妻のことを気にかけて続けた1例

米本 千春（ホームケアクリニック堺）

O3-05 理解力の乏しい療養者の尊厳ある看取りの考察

～職種による「家にいたい」という言葉の受け止めの違いからの考察～

高屋 かおり（在宅療養支援ステーション楓の風 武蔵小杉）

- O3-06 在宅療養を送るにあたっての正しい「緩和ケア」の利用と理解の必要性
山内 千晶（福岡県がん患者団体ネットワーク・がん・バツテン・元気隊）

大会議室 2

- 12：15～13：00 **ポットラックセミナー**
「認知症ケアメソッド ～メモリアルボックスの活用」
講 師：大谷 るみ子（全国グループホーム団体連合会 副理事長、
NPO 法人福岡県高齢者グループホーム 理事長）
- 13：15～14：45 **一般口演「アドバンスケアプランニング・意思決定支援」O4-01～O4-06**
座 長 河村 康司（田川市立病院）
副座長 餘永 真奈美（緩和ケア認定看護師 小倉記念病院）
O4-01 揺れる Advance Care Planning の 1 例 - 「私の意思書」とコミュニケーション -
桶口 史篤（富山市立富山市民病院 緩和ケア内科）
O4-02 地域在住高齢者の終末期のあり方に関する意思形成プロセス - 予備調査の結果より -
川喜田 恵美（神戸女子大学）
O4-03 地域の有床診療所におけるがん終末期ケアについての考察
～最期まで関わることが出来た／出来なかった事例を通じて～
高野 修一（ろっこう医療生活協同組合 難診療所）
O4-04 在宅看取りを支える訪問看護師の役割 ～幼いわが子を残して逝く母親との関わり～
友清 ひろみ（ハートフルシマダ訪問看護ステーション）
O4-05 小児がん患者の在宅での看取りとご家族への関わり
奥尾 恵美（訪問看護ステーションにしがも）
O4-06 大切な時間を過ごした 8 歳児の終末期を通して、訪問看護のあり方を考える
今邨 優子（良創夢 訪問看護ステーション）
- 15：00～16：30 **一般口演「意思決定支援」O5-01～O5-06**
座 長 伊藤 大樹（あおばクリニック）
副座長 植木 昭代（緩和ケア認定看護師 那珂川病院）
O5-01 患者の視点から ACP を考える
～モノログからダイアログへ、そしてオープンダイアログへ～
藤本 啓子（東神戸病院 緩和ケア病棟）
O5-02 在宅ホスピスで患者を介護した家族の介護困難感に対するエキスパートノレッジによる支援
安藤 満代（聖マリア学院大学看護学部）
O5-03 終末期の在宅支援 ～患者と家族の意見に相違があった症例～
水谷 祐哉（小山田記念温泉病院）
O5-04 障がい児（者）の終末期医療における意思決定支援
～A 氏のサインに寄り添った関わり～
宮崎 弥生（久留米大学医療センター）
O5-05 優しい我が家で…… ～妹たちの声を聞きながら最期を迎えたい～
高橋 直子（江口病院居宅介護支援事業部）
O5-06 終末期を迎えた利用者への医療情報の提供のあり方について
～介護支援専門員としての役割を考える～
湯野 光代（居宅サービスわかたけ）
- 16：45～18：15 **一般口演「施設ホスピス」O6-01～O6-05**
座 長 笠原 健太郎（あおぞら胃腸科）
副座長 池末 いづみ（緩和ケア認定看護師 公立八女総合病院）
O6-01 穏やかな最期を迎えるために ～平穏死の条件～
佐藤 栄一（特別養護老人ホーム 白熊園）

プログラム：1日目 2月4日（土）

大会議室 2

- O6-02 がん患者における終末期リハビリテーション介入
境 哲生（杏林大学医学部付属病院）
- O6-03 宝塚市立病院緩和ケア病棟の役割について
松田 良信（宝塚市立病院 緩和ケア病棟）
- O6-04 地域における緩和ケアの意義を考える
三村 卓司（金田病院）
- O6-05 特別養護老人ホームでの看取りを考える ～日常生活支援の延長にある看取りケア～
坂本 純子（特別養護老人ホーム八女の里）

大会議室 3

- 12：15～13：00 ポットラックセミナー
「リンパ浮腫ケア」
講 師：大塚 俊介（日本浮腫緩和療法協会 代表）
司 会：齋藤 如由（齋藤醫院 院長）
- 13：15～14：30 一般口演「非がんの看取り・グリーフ」O7-01～O7-06
座 長 中野 一司（ナカノクリニック）
副座長 緒方 幸恵（緩和ケア認定看護師 聖マリア病院）
 - O7-01 心不全症例の終末期の関わりについて
池田 真介（きずなクリニック）
 - O7-02 「看取りのあとに私達ができること」
～最期を迎えた後の変化に伴う専門職のかかわり方について～
大堀 嘉子（横浜高齢者グループホーム連絡会）
 - O7-03 家族と死別した子どものグリーフサポートプログラム実践報告
田口 寛子（こどもグリーフサポートふくおか）
 - O7-04 読経により悲嘆は緩和されるのか？ ～心理尺度と生化学指標による実証～
谷山 洋三（東北大学大学院文学研究科）
 - O7-05 葬儀の日に聞いたお迎え現象と知らせの体験
青木 芳恵（福岡大学 医学部 看護学科）
 - O7-06 臨床宗教師との連携によるグリーフケア
～カフェデモンクでの『いのちのケア』を通して～
遠山 マリナ（沼口医院）
- 15：00～16：30 一般口演「家族ケア」O8-01～O8-06
座 長 後藤 慶次（ひまわり在宅クリニック）
副座長 岩田 明寿香（緩和ケア認定看護師 みどりの杜病院 在宅医療推進室）
 - O8-01 家族の未来を変えて旅立ったSさんの生き様
船戸 崇史（船戸クリニック）
 - O8-02 「やっぱり最期まで家でみたい」～自宅でみとりを決意した家族への支援～
佐谷 梨絵（さわやか憩いの家 春日）
 - O8-03 鍼灸院でおこなった患者・家族への寄り添い
大澤 季世依（レディース鍼灸さいとう）
 - O8-04 最終末期における音楽の意味 –当事者と家族が共にあるために–
梅崎 聡子（齋藤醫院）
 - O8-05 看護師ががん患者の家族となった時に得たもの
高尾 香菜（福岡大学病院）

O8-06 「家に連れて帰って、もう一度、口から食べさせたい！」
～主治医が家族の思いを尊重し、自宅退院を支援した事例を通して～
大石 喜美子（江口病院 地域医療連携室）

16：45～18：15 一般口演「人材育成・地域包括ケア」O9-01～O9-06

座長 矢ヶ部 伸也（矢ヶ部医院）

副座長 古賀 さとみ（緩和ケア認定看護師 聖マリア病院）

O9-01 多職種連携草の根ネットワークの活動と国の施策の矛盾について
猪口 寛（医療法人 鵬之風 いのくち医院）

O9-02 台湾僻地における地域包括ケア、「積極的に打って出る」在宅医療
余 尚儒（台東聖母病院）

O9-03 船橋市の在宅医療・介護連携の取組み
～船橋在宅医療ひまわりネットワークの実践を中心として～
藤田 敦子（船橋在宅医療ひまわりネットワーク）

O9-04 歌って、踊って、たくさん食べる地域包括ケア ～泰源アラバワン部落の物語～
Nanaju nanafan Wakang（台東聖母病院）

O9-05 小規模多機能の泊まりで乳がん術後の管理を受けた認知症の一事例
田端 三千代（銀の庵・上旗〈小規模多機能型居宅介護〉）

O9-06 地域で「いのちのケア」に取り組む臨床宗教師 ～カフェデモンクでの活動を通して～
田中 至道（沼口医院）

展示室

10：00～18：15 「國森 康弘 写真展」

スタジオ 1

10：00～18：15 セラピューティック・ケア体験

スタジオ 2

10：00～18：15 企業展示

スタジオ 3

10：00～18：15 企業展示

スタジオ 4

10：00～18：15 ICAA 体験